平成 23 年度 青少年を取り巻く有害環境対策の推進

（有害環境から子どもを守るための推進体制の整備）

【ケータイモラルキャラバン隊】

成果報告書

平成 24 年 3 月

文部科学省 スポーツ・青少年局

受託　株式会社メディア開発綜研

本報告書は、文部科学省のスポーツ・青少年局青少年課及び参事官委託費による委託事業として、株式会社メディア開発綜研が実施した平成２３年度「青少年を取り巻く有害環境対策の推進（有害環境から子どもを守るための推進体制の整備）【ケータイモラルキャラバン隊】」の成果を取りまとめたものです。
従って、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。

目次

1　ケータイモラルキャラバン隊 実施概要 1
1.1　目的 1
1.2　実施体制 1
1.2.1　ケータイモラルキャラバン隊実行委員会【構成員】 1
1.2.2　開催場所・回数・規模 2
1.2.3　シンポジウムの内容 4
1.2.4　その他 6
1.3　実施スケジュール 6
2　ケータイモラルキャラバン隊 開催結果と評価 7
2.1　第１回実行委員会 7
2.1.1　開催概要 7
2.1.2　第１回実行委員会議事内容 8
2.2　第１回開催 10
2.2.1　開催概要 10
2.2.2　プログラム 10
2.2.3　講演者プロフィール 11
2.2.4　シンポジウム概要 11
2.2.5　第１回開催結果と評価 15
2.3　第２回開催 25
2.3.1　開催概要 25
2.3.2　プログラム 25
2.3.3　講演者プロフィール 26
2.3.4　シンポジウム概要 26
2.3.5　第２回開催結果と評価 30
2.4　第３回開催 39
2.4.1　開催概要 39
2.4.2　プログラム 39
2.4.3　講演者プロフィール 40
2.4.4　シンポジウム概要 40
2.4.5　第３回開催結果と評価 46
2.5　第４回開催 62
2.5.1　開催概要 62
2.5.2　プログラム 62
2.5.3　講演者プロフィール 63

2.5.4　シンポジウム概要 63
2.5.5　第４回開催結果と評価 67
2.6　第５回開催 75
2.6.1　開催概要 75
2.6.2　プログラム 75
2.6.3　講演者プロフィール 76
2.6.4　シンポジウム概要 76
2.6.5　第５回開催結果と評価 80
2.7　第６回開催 88
2.7.1　開催概要 88
2.7.2　プログラム 88
2.7.3　講演者プロフィール 89
2.7.4　シンポジウム概要 89
2.7.5　第６回開催結果と評価 93
2.8　第２回実行委員会 102
2.8.1　開催概要 102
2.8.2　第２回実行委員会議事内容 103
3　本事業の全体評価 105
3.1　６開催のアンケート結果より 105
3.1.1　有益度 105
3.1.2　満足度 107
3.1.3　意識変化 109
3.1.4　シンポジウムに参加して子どもの携帯電話利用についてどう考えたか 111
3.2　次年度への課題 112
3.2.1　ＰＴＡとの連携 112
3.2.2　周知の手法 112
3.2.3　アンケート評価について 112
3.3　総評 113

1　ケータイモラルキャラバン隊 実施概要

1.1　目的

昨今の携帯電話等の普及により、インターネット上の違法・有害情報サイトを通じた犯罪やいじめ等に青少年が巻き込まれている現状を踏まえ、有害情報等から青少年を守るための取組体制の構築、普及啓発活動の実施、必要な調査研究等を総合的に推進する。

携帯電話、インターネットの普及により、青少年においては、出会い系サイトやそれ以外の違法・有害情報等によるトラブルの件数が増加傾向にあり社会問題化している。要因としては機器の普及の他、心身が未発達で、十分な知識を持たずにインターネットを利用することにある。このため、官民問わず、青少年に対し、携帯電話、インターネットの利用に際して、モラル教育を実施してはいるが、未だ十分とは言えない。また、平成 23 年度から小学校で施行されている新学習指導要領では、情報機器の利用の促進が盛り込まれた内容となっており、より実態に応じた有害環境対策が必要となっている。そのためには青少年に対してのモラル教育は勿論のこと、保護者や学校関係者等といった青少年を取り巻く人々にも携帯電話、インターネットの利用について関心を持ってもらい、一緒に知識を深めることが急務となっている。

このことからケータイモラルキャラバン隊として、各地域に出向き、現地の状況を把握するとともに、文部科学省の施策を保護者、教職員を対象に伝えることにより、有害環境より子どもを守るための推進体制の構築に寄与することを目指した。

1.2　実施体制

安心ネットづくり促進協議会の会員である㈱メディア開発綜研が事務局をつとめ、安心ネットづくり促進協議会のリソース、ノウハウを用いて本事業の実施にあたった。

実施にあたってはケータイモラルキャラバン隊実行委員会を設置し、事業の企画・運営、事業終了後の評価に関して助言を伺った。

実行委員会の構成員は、行政関係者、学校関係者、ＰＴＡ関係者、メディア関連団体、警察関係者、有識者等により組織し、以下の構成員を選出した。

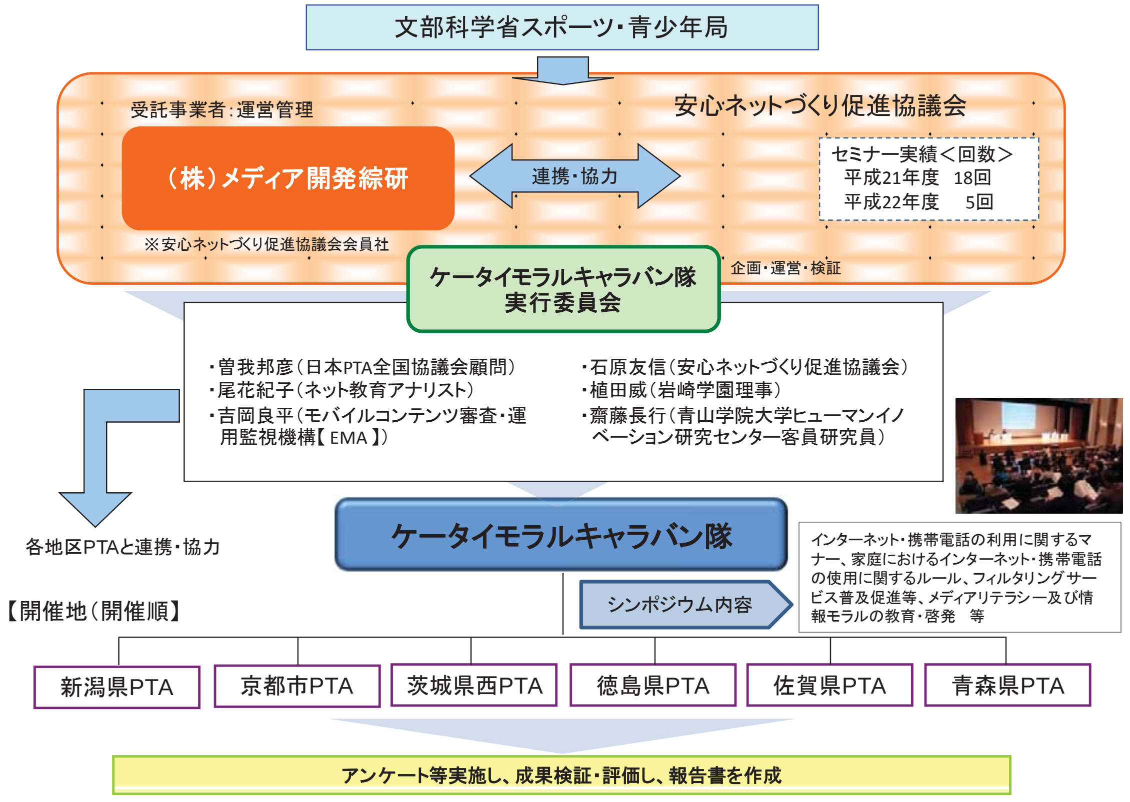
1.2.1　ケータイモラルキャラバン隊実行委員会【構成員】

委員長：　曽我邦彦　社団法人　日本 PTA 全国協議会顧問（PTA 関係者）
副委員長：尾花紀子　ネット教育アナリスト(教育関係者)
委員：　植田威　学校法人岩崎学園　理事 経営企画部長（民間教育団体）
委員：　齋藤長行　青山学院大学ヒューマンイノベーション研究センター
客員研究員（学識経験者）
委員：　吉岡良平　一般社団法人　モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

事務局（情報通信団体）

委員：　　石原友信　安心ネットづくり促進協議会　事務局次長兼企画部長

図 1-1　本事業実施体制図



1.2.2　開催場所・回数・規模

ケータイモラルキャラバン隊の開催は、全国各地で地域の偏りがないよう全国を 8 ブロック（北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州等）に分け、本年度は、そのうち東北、関東、中部、近畿、四国、九州の 6 ブロックで実施した。

開催地は、東北（青森県青森市：平成 24 年 2 月 18 日実施）、関東（茨城県結城市：平成 24 年 1 月 14 日実施）、中部（新潟県三条市：平成 23 年 11 月 12 日実施）、近畿（京都府京都市：平成 23 年 12 月 10 日実施）、四国（徳島県徳島市：平成 24 年 1 月 15 日実施）、九州（佐賀県唐津市：平成 24 年 1 月 28 日実施）で実施した。

また対象は保護者、教育関係者等とし、全国で 2,000 人程度を目標に参加を募った。図 1-2 は開催場所を地図上で表したもの、開催実績については図 1-3 の通りである。

図 1-2 ケータイモラルキャラバン隊 開催場所

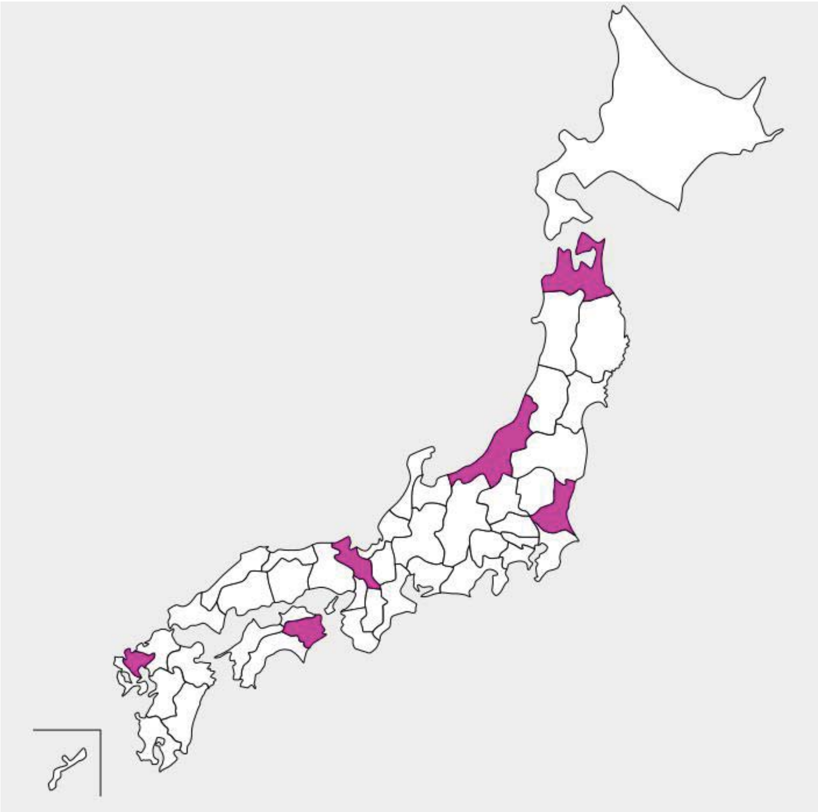


図 1-3 ケータイモラルキャラバン隊 開催実績

	開催地	開催日	実施時間帯	会場	定員	参加者数	開催形式	協力
1	新潟県三条市	11月12日	13:30〜16:00	燕三条地場産センター リサーチコア 7F マルチメディアホール	300	220	トークセッション	新潟県小中学校PTA連合会 後援:新潟県教育委員会
2	京都府京都市	12月10日	13:30〜16:20	きらっとプラザ京都産業会館　シルクホール	750	300	パネルディスカッション	京都市PTA連絡協議会　人づくり21世紀委員会 京都市地域生徒指導連合会 後援:京都市教育委員会
3	茨城県結城市	1月14日	13:30〜16:20	結城市民文化センターアクロス　展示室	120	110	ワークショップ	茨城県県西地区PTA連絡協議会 (社)青少年育成茨城県民会議 後援:茨城県　茨城県教育委員会 協力:茨城県メディア教育指導員連絡会
4	徳島県徳島市	1月15日	13:30〜16:00	徳島県教育会館　小ホール	200	130	トークセッション	徳島県PTA連合会 後援:徳島県教育委員会
5	佐賀県唐津市	1月28日	13:30〜16:15	虹の松原ホテル　レインボーホール	150	120	パネルディスカッション	佐賀県PTA連合会 後援:佐賀県教育委員会
6	青森県青森市	2月18日	13:00〜16:00	青森県総合社会教育センター　大研修室	300	140	トークセッション	青森県高等学校PTA連合会　青森県PTA連合会 弘前大学教育学部(ネットパトロール隊) 後援:青森県教育委員会　青森市教育委員会 弘前大学

1.2.3　シンポジウムの内容

シンポジウムは、一方向の学習型講義だけではなく、参加型意見交換会、ワークショップ等、様々な形式を通じて、保護者、教育関係者等へアプローチを行うこととした。その際、携帯電話等の利用に関しては、地域によって主張や見解が異なる場合が多く、地域の様々な事情、要望を踏まえた上で、その地域にあった形式で内容を選定した。

本事業ではシンポジウムの形式を４つに分け、それぞれを組み合わせた形で実施を試みた。

図 1-4　シンポジウムの形式

セミナー 青少年を取り巻く有害環境対策についての知識を有する人員をケータイモラルキャラバン隊から講師として配置し、講義形式で行う。来場者の知識が不十分な場合に効果的な形態であり、携帯電話・インターネット上の青少年を取り巻く現状についての知識の集積を狙う。セミナーの講演内容は、「子どもが正しくケータイを使うために「家庭」「学校」「地域」が果たす役割、ルール」「子どもをネット・ケータイの被害から守るには」などが考えられる。	**パネルディスカッション** 複数人で討論を実施する形式であるため、活動分野や意見が異なる講演者を配置し、来場者は多方面からの知識を深めることが可能となる。本事業においては、全国各地で開催することを予定していたため、ケータイモラルキャラバン隊の構成員として各地域の学校関係者、PTA関係者、有識者などの人員を配置する。パネルディスカッション内で、各地の状況などについてのプレゼンテーションを実施することで、地域の特性に合わせた青少年を取り巻く有害環境対策を模索することが可能となる。
来場者参加型の形式を取り、1グループ数名、数グループを設定し、あるテーマについて意見を出し合い、一つの方向性を導き出す手法。自ら意見を出し合うため、聴講型よりも深い認識が得られる。 **→来場者参加型（熟議形式）** **ワークショップ**	来場者からの質問に、ケータイモラルキャラバン隊から配置された講師が答えるという形式を取る。また来場者同士の意見交換も行い、来場者同士の意識のすり合わせ、問題解決の手法等を学習する。 **→来場者参加型** **トークセッション（タウンミーティング）**

1.2.3.1　シンポジウム構成

シンポジウムの構成は、文部科学省の施策の説明及びセミナー（基調講演）をどのシンポジウムでも基本軸（第一部）として、第二部において、パネルディスカッション、トークセッション、ワークショップを地域の事情、要望に合わせて設定し、実施した。

具体的な構成として、新潟県三条市は、施策説明＆セミナー＋トークセッション、京都府京都市、施策説明＆セミナー＋パネルディスカッション、茨城県結城市、施策説明＋ワ

ークショップ、徳島県徳島市、施策説明＆セミナー＋トークセッション、佐賀県唐津市、施策説明＆セミナー＋パネルディスカッション、青森県青森市、施策説明＆セミナー＋トークセッションとして実施した。

6 地区トータルで、パネルディスカッション（2）、トークセッション（3）、ワークショップ（1）が開催実績となる。

シンポジウムの実施時間は、3 時間弱程度で、すべて午後からの開催とした。

図 1-5　シンポジウム構成（例）

13時30分～13時35分　＜開会挨拶＞
13時35分～13時55分　＜文部科学省 説明＞ **ケータイモラル、情報等に関する小学校、中学校での取り組み**
13時55分～14時50分　＜講演＞ **そうか！なるほど！子どもたちとケータイ** **～ 現状から学べる、未来の担い手たちの育み方 ～**
15時～16時10分　＜パネルディスカッション＞ **子どものケータイ！どう向き合う？** **パネリスト** **コーディネーター**
16時10分～16時15分　＜閉会挨拶＞

1.2.3.2　　シンポジウム内容

シンポジウムの内容は、インターネット・携帯電話の利用に関するマナー、家庭におけるインターネット･携帯電話の使用に関するルール、フィルタリングサービス普及促進等、メディアリテラシー及び情報モラルの教育・啓発に関する内容とし、保護者、教育関係者が持ち帰って議論してもらえるように設定した。

またケータイモラルキャラバン隊と銘打っているが、携帯電話のみならず、PC、スマートフォン、インターネット接続可能なゲーム機、テレビ等の情報通信機器全般についても想定した上で議論が出来るよう内容を検討した。

1.2.4　その他

その他の取り組みとして、事業の効果を評価するため参加者を対象に開催ごとにアンケート等を実施、集計した。本事業のテーマに関して、シンポジウムを聴講する前と後（事前事後）での理解度を評価軸として本報告書に記載した。

また事業を効果的かつ効率的に実施するにあたり、地方自治体やＰＴＡ団体、民間団体等との協力を得て本事業を実施した。

1.3　実施スケジュール

全６回の実施スケジュールは以下の通り。

図 1-6　スケジュール

	10月	11月	12月	平成24年1月	2月	3月
委員会開催	10/17 第1回委員会				2/27 第2回委員会	報告書提出
シンポジウム開催		11/12 新潟県PTA	12/10 京都市PTA	1/14 茨城県西PTA 1/15 徳島県PTA 1/28 佐賀県PTA	1/28 青森県PTA	

シンポジウム実施ごとにアンケートを実施し、集計を行う。